

【令和4年度】下関市重要指標（KGI）総括表

	基準値	目標値	R2年度		R3年度		R4年度	
			実績値	進捗状況	実績値	進捗状況	実績値	進捗状況
基本目標 1 地域産業の強化、しごとの確保を促進する								
目標指標 ① 生産性(市内就業者1人あたり総生産)の向上	7,042千円 (H28)	7,749千円 (R6)	7,840千円	↗	7,708千円	—	7,768千円 【R2d】	↗
目標指標 ② 就業率の上昇	54.1% (H28)	55.0% (R6)	55.7%	↗	55.8%	↗	55.5% 【R2d】	↗
基本目標 2 下関に集う人、下関で暮らす人を増やす								
目標指標 ③ 交流人口の増加(観光客数・宿泊客数)	(観光客数) 7,003千人 (宿泊客数) 813千人 (H30)	(観光客数) 10,000千人 (宿泊客数) 1,000千人 (R4)	(観光客数) 3,820千人 (宿泊客数) 589千人	↗	(観光客数) 3,718千人 (宿泊客数) 586千人	↗	(観光客数) 4,559千人 (宿泊客数) 688千人	↗
目標指標 ④ 純移動率の縮小	(全数) -0.0039 (15-29歳) -0.0251 (20-39歳女性) -0.0191 (H30)	(全数) -0.002 (15-29歳) -0.02 (20-39歳女性) -0.01 (R6)	(全数) -0.0042 (15-29歳) -0.0283 (20-39歳女性) -0.0202	↗	(全数) -0.0039 (15-29歳) -0.0261 (20-39歳女性) -0.0179	—	(全数) -0.0046 (15-29歳) -0.0315 (20-39歳女性) -0.0227	↗
基本目標 3 いのちを大切に、子どもを産み育てやすい環境を整える								
目標指標 ⑤ 人口の自然増減率の上昇	-7.87 (H30)	-6.2 (R6)	-8.18	↗	-8.67	↗	-9.23 【R3】	↗
目標指標 ⑥ 健康寿命の延伸	平均寿命の延伸 (男)0.06年 (女)0.08年 健康寿命の延伸 (男)-0.11年 (女)0.03年 (H26~29年の延伸平均)	平均寿命の延伸 (男)-0.12年 (女)0.06年 健康寿命の延伸 (男)-0.11年 (女)0.03年	平均寿命の延伸 (男)1.45年 (女)-0.65年 健康寿命の延伸 (男)1.35年 (女)-0.58年	—	平均寿命の延伸 (男)-0.07年 (女)1.12年 健康寿命の延伸 (男)-0.04年 (女)1.16年	↗	平均寿命の延伸 (男)0.10年 (女)-0.29年 健康寿命の延伸 (男)0.15年 (女)-0.12年	↗
目標指標 ⑦ 「下関市は、安心して子どもを産むことができ、育てやすいまちである」と感じている市民の割合の向上	28.45% (H30)	50% (R6)	29.4%	—	23.1%	↗	24.9% 【R5】	↗
基本目標 4 地域の力を活かし、持続可能な地域社会をつくる								
目標指標 ⑧ 「住民自治によるまちづくりの取り組みが進んできた」と感じている市民の割合の向上	11.68% (H30)	16% (R6)	14.0%	—	15.0%	—	15.1% 【R5】	—
目標指標 ⑨ 「地域に感じた都市機能が充実し、まちのにぎわいや魅力がある」と感じている市民の割合の向上	8.06% (H30)	15% (R6)	8.1%	—	10.6%	—	10.8% 【R5】	—
目標指標 ⑩ 「これからも下関に住み続けたい」と思う市民の割合の向上	(全層)84.65% (20代)62.69% (20-30代女性) 70.94% (H30)	(全層)80.0% (20代)80.0% (20-30代女性) 80.0% (R6)	(全層)87.2% (20代)79.7% (20-30代女性) 70.6%	—	(全層)86.4% (20代)73.8% (20-30代女性) 80.0%	—	(全層)86.6% (20代)77.4% (20-30代女性) 77.4% 【R5】	—

↗	概ね順調に推移している指標	目標値以上
↘	目標の達成に向けて更なる取組が必要な指標	基準値を下回る
—	その他	基準値以上だが 目標値未滿

KPI総括表の補足説明

◆総括シート表における重要指標(KGI)の分類

番号	指標の内容	備考
①	生産性(市内就業者1人あたり総生産)の向上	
②	就業率の上昇	
③	観光客数・宿泊客数	
④	純移動率の縮小	
⑤	人口の自然増減率の上昇	主に医療・福祉分野
⑥	健康寿命の延伸	主に健康・保健分野
⑦	下関市は、安心して子どもを産むことができ、育てやすいまちであると感じている市民の割合	
⑧	住民自治によるまちづくりの取り組みが進んできたと感じる市民の割合	
⑨-1	地域に応じた都市機能が充実し、まちなぎわいや魅力があると感じている市民の割合	主にハード
⑨-2		主に安全・安心・衛生
⑨-3		主に社会教育・コミュニティ
⑨-4		主に環境
⑩	これからも下関に住み続けたいと思う市民の割合の向上	
⑪	共生・協働	数値設定なし
⑫	行政経営	数値設定なし

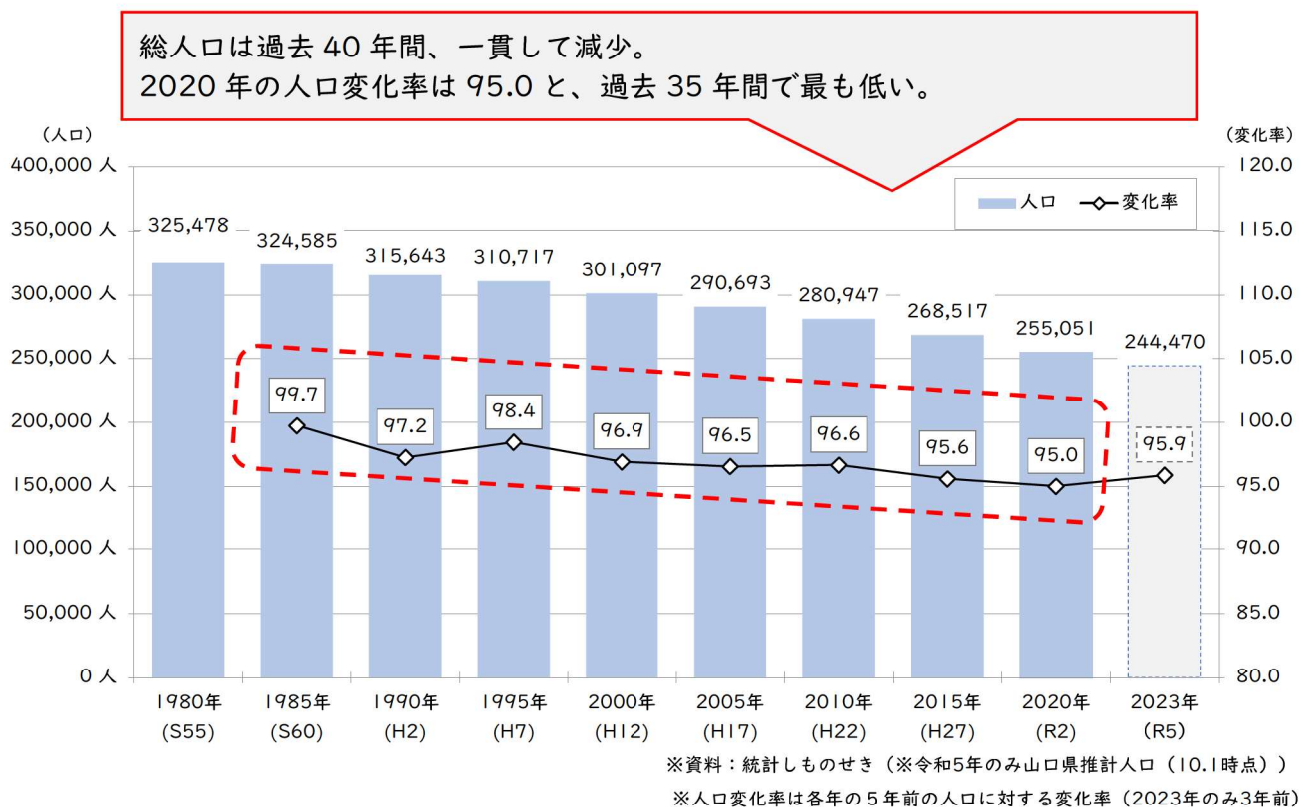
◆総括表におけるR4年度実績の評価

			指標数
↗	概ね順調に推移している指標	目標値以上	21
↘	目標の達成に向けて更なる取組が必要な指標	基準値を下回る	38
—	その他	基準値以上だが目標値未滿	39

第3次下関市総合計画等策定に向けた人口動態等の整理

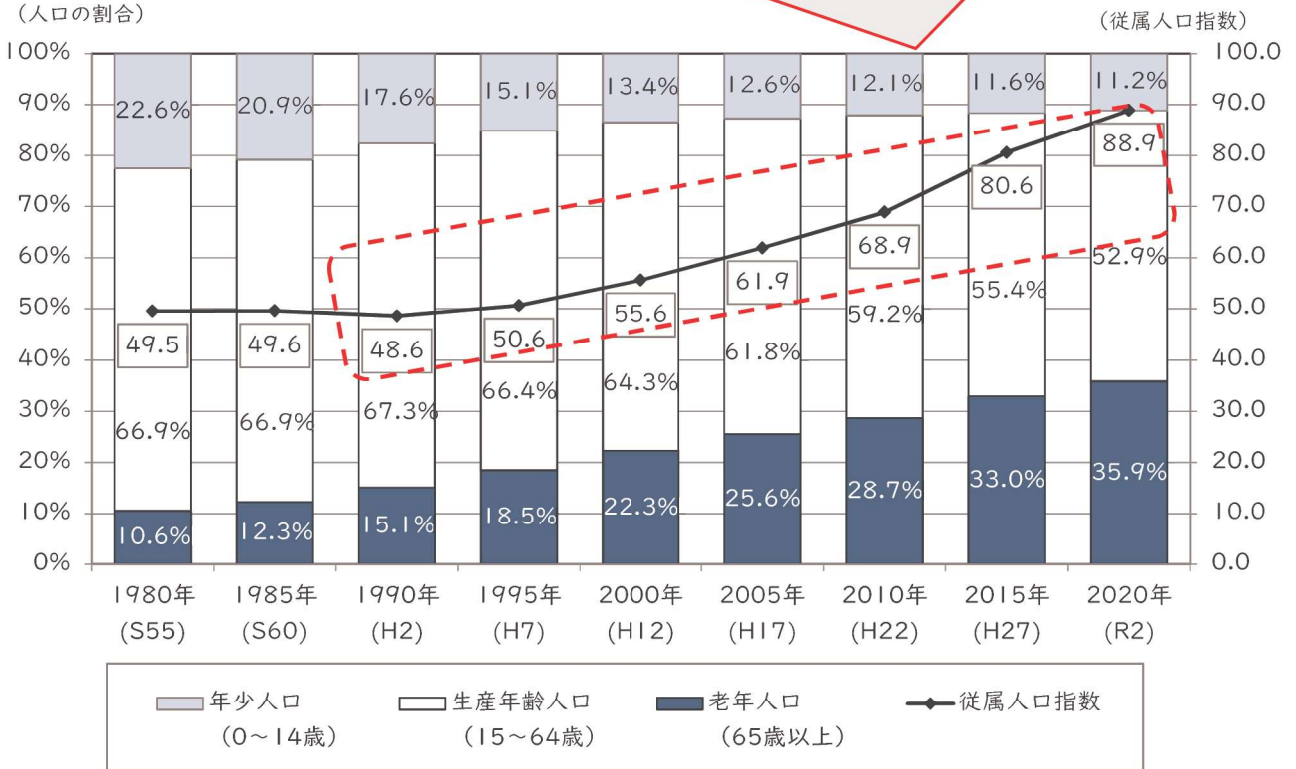
I 人口の動向

(1) 総人口と人口変化率の推移



(2) 年齢構造の変化

少子化、高齢化が進む中で1990年以降は従属人口指数が増加。1995年頃までは生産年齢人口の概ね10人が従属人口（年少人口・高齢者人口）5人を支えていたのに対し、2020年は概ね10人が9人を支える状況。



※資料：統計しものせき

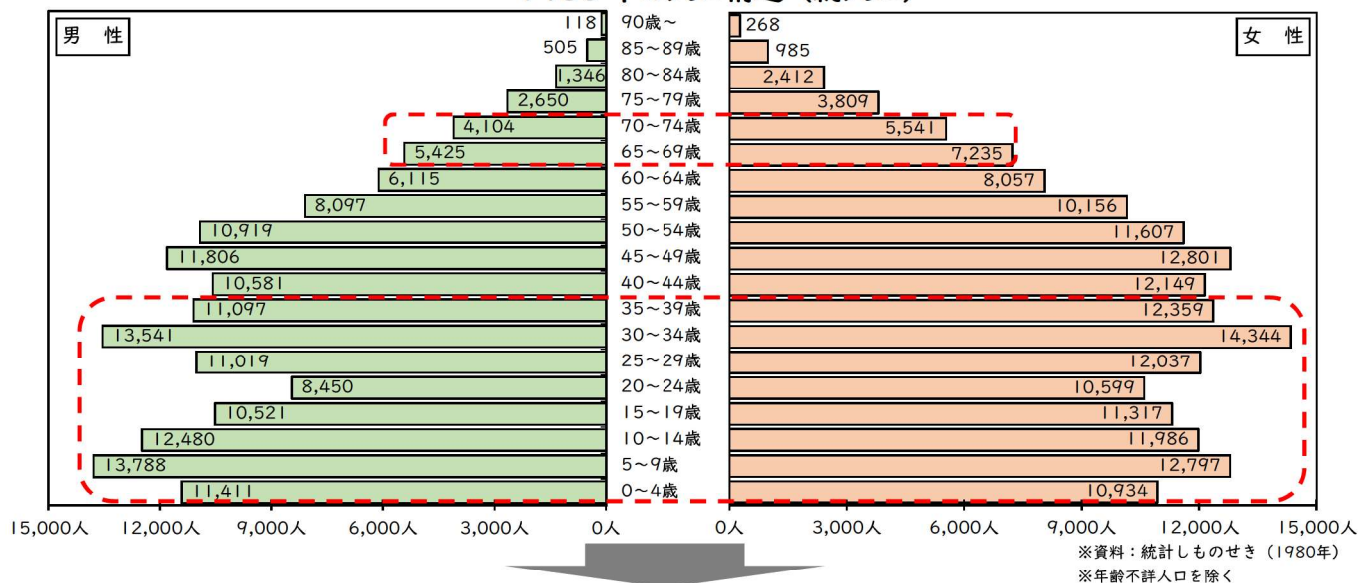
※年齢区分ごとの割合は、総人口から年齢不詳を除いた人口から算出

※従属人口指数は生産年齢人口100人が支える年少人口・老年人口の数を示す

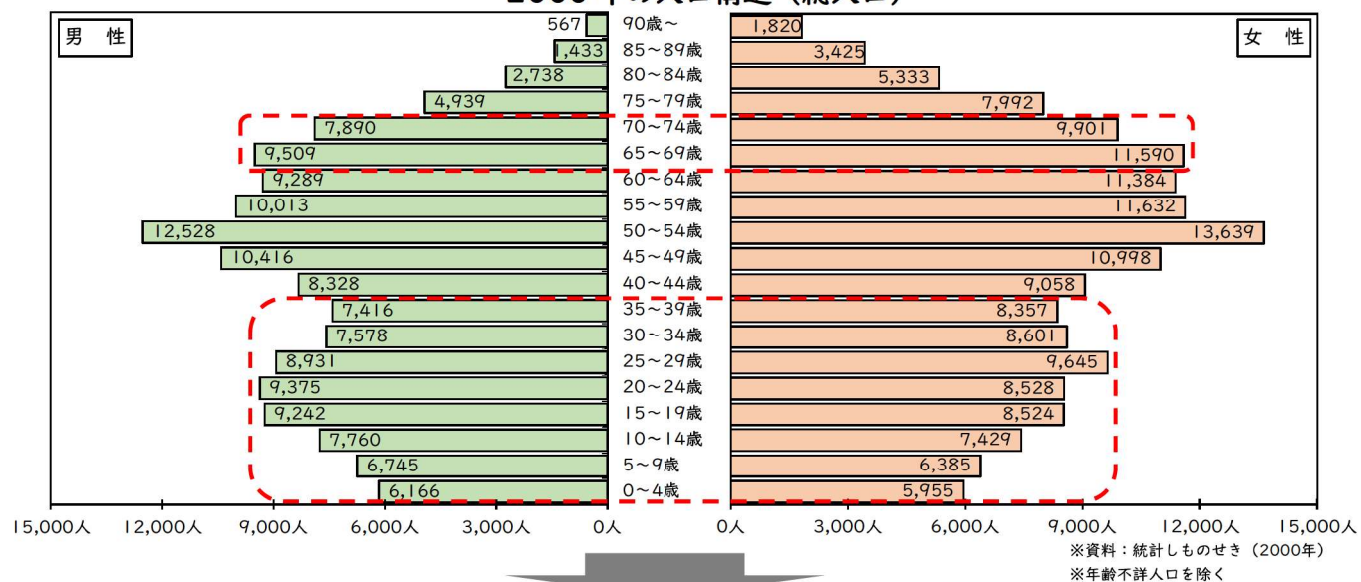
(単位：人)	1980年 (S55)	1985年 (S60)	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)
総人口	325,478	324,585	315,643	310,717	301,097	290,693	280,947	268,517	255,051
年少人口 (0~14歳)	73,396	67,742	55,433	46,960	40,440	36,583	33,744	31,116	28,155
生産年齢人口 (15~64歳)	217,572	216,987	212,066	206,099	193,482	178,637	165,406	147,954	133,298
15~39歳	115,284	108,872	97,911	92,607	86,197	78,384	71,303	62,438	54,069
40~64歳	102,288	108,115	114,155	113,492	107,285	100,253	94,103	85,516	79,229
老年人口 (65歳以上)	34,398	39,856	47,577	57,389	67,137	73,990	80,199	88,073	90,326
65~74歳	22,305	24,479	28,331	34,351	38,890	39,130	38,623	43,349	42,550
75歳以上	12,093	15,377	19,246	23,038	28,247	34,860	41,576	44,724	47,776
年齢不詳	112	-	567	269	38	1,483	1,598	1,374	3,272
構成比									
年少人口	22.6%	20.9%	17.6%	15.1%	13.4%	12.6%	12.1%	11.6%	11.2%
生産年齢人口	66.9%	66.9%	67.3%	66.4%	64.3%	61.8%	59.2%	55.4%	52.9%
老年人口	10.6%	12.3%	15.1%	18.5%	22.3%	25.6%	28.7%	33.0%	35.9%
変化指数									
年少人口	100.0	92.3	75.5	64.0	55.1	49.8	46.0	42.4	38.4
生産年齢人口	100.0	99.7	97.5	94.7	88.9	82.1	76.0	68.0	61.3
老年人口	100.0	115.9	138.3	166.8	195.2	215.1	233.2	256.0	262.6

「年少人口」が1980年の4割程度まで減少している一方、「老年人口」は2.6倍程度まで増加している。

1980年の人口構造（総人口）



2000年の人口構造（総人口）



2020年の人口構造（総人口）

